

事 項	りんご育成系統「青り13号」の特性		
ね ら い	<p>「青り13号」は昭和53年にりんご試験場で「世界一」に「あかね」を交配し育成された系統で、昭和61年に1次選抜、平成7年に2次選抜され、平成10年4月に現地適応性試験に供試された。</p> <p>収穫時期は10月上旬で、着色が良く、着色管理の労力が軽減できることから、「つがる」のあと「ジョナゴールド」へつなぐ中生種として参考に供する。</p>		
指 導 参 考 内 容	<p>1 果実特性 熟 期：10月上旬で、熟期がやや不揃いである。 大 き さ：350g前後と大きい。 果 色：暗紅色で縞はなく、着色が容易である。 果 形：扁円形 食 味：果肉は硬く、肉質はややち密で蜜が入り、果汁が多く、食味は甘で良好である。 貯 蔵 力：常温で3週間ぐらい、普通冷蔵で12月末頃までと貯蔵性に優れている。 その他：果梗がやや短い。</p> <p>2 その他の特性 生 態：生態は「ふじ」とほぼ同じ。 樹 姿：樹姿は中間型で、結果枝は短果枝が多い。 耐 病 性：斑点落葉病に対して抵抗性が強い。 交 雑 和 合 性：自家不和合性遺伝子型を調査した結果、現在の主力品種（ふじ、つがる、玉林）と「青り13号」の間では相互に和合性である。 交配試験の結果でも「ふじ」の花粉では和合性が高い。 その他：年によって収穫前落果が多少みられる。</p>		
期待される効果	<p>1 「青り13号」は着色が容易で、着色管理の労力を軽減することができる。</p> <p>2 「青り13号」は甘い味の品種で、「青り9号」（平成9年度品種登録申請済）の甘酸っぱい味と対照的である。よって、消費者の多様な嗜好に対応し、りんごの消費拡大につながる。また、収穫時期は10月上旬で、「つがる」、「青り9号」のあと「ジョナゴールド」へつなぐ有望な品種として位置付けられ、品種選択の幅が広がる。</p>		
利用上の注意事項	苗木の供給は平成14年の見込みである。		
担 当	青森県りんご試験場 育種部	対 象 地 域	県下全域
発 表 文 献 等			

【根拠となった主要な試験結果】

表1 青り13号の生態

(青森りんご試)

年	品 種 名	発 芽 日	開 花 日	満 開 日	落 花 日
平9	青り13号	4. 8	5. 8	5. 12	5. 16
	ふ じ	4. 8	5. 9	5. 13	5. 17
平10	青り13号	4. 5	4. 25	5. 2	5. 6
	ふ じ	4. 4	4. 24	5. 2	5. 6

注) 平10年は異常に開花が早かった年。

表2 青り13号の果実品質

(青森りんご試)

年	収 穫 日	1 果 重 (g)	硬 度 (1 bs)	糖 度 (%)	酸 度 (g/100ml)
平6	10. 4	332	15.3	15.4	0.35
平7	10. 3	404	16.2	14.7	0.33
平8	10. 7	361	17.7	14.5	0.34
平9	10. 3	352	20.2	15.1	0.31
平10	9. 30	456	15.4	14.6	0.30
平均		381	17.0	14.9	0.33

表3 青り13号の冷蔵貯蔵後の果実品質

(青森りんご試)

年	収 穫 日	調 査 日	1 果 実 (g)	硬 度 (1 bs)	糖 度 (%)	酸 度 (g/100ml)
平6	10. 4	1. 8	316	14.6	15.3	0.30
平8	10. 7	11. 20	399	14.5	14.7	0.34
平9	10. 3	12. 19	360	17.4	15.5	0.31
平10	9. 30	12. 18	355	14.2	13.9	0.25

表4 青り13号の斑点落葉病抵抗性

(青森りんご試)

品 種 名	ホ場における発生状況 (平9年)			接種試験による発病程度 (平10年)		
	調査葉数	発病葉数	発病率(%)	調査葉数	発病葉数	発病率(%)
青り13号	125	10	8.0	15	0	0.0
つがる	109	4	3.7	15	0	0.0
スターキング	125	96	76.8	15	15	100.0
ふじ	104	25	24.0	15	15	100.0

表5 青り13号の交雑和合性

(平成10年青森りんご試)

交配品種	交配花数	結実果数	結実率(%)
ふじ	50	38	76.0